

メディアシップ貸出施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

令和2年5月18日

メディアシップ管理運営センター

1. はじめに

今回お示しするガイドラインは、国の方針を踏まえ貸出施設の利用にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として実施すべき基本的事項を整理したものです。

すべての項目の実施が催事開催の必須条件ではありませんが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、最大限の対策を講じ基本となる感染予防策を実施した上で、より感染予防効果を高めるための推奨事項として、今後の取組の参考にさせていただきたいと思っております。

2. 感染防止のための基本的な考え

「入場者の制限や誘導」「手洗いの徹底や手指の消毒設備の設置」「マスクの着用」等の要請を行うことを含め、「三つの密」①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)を徹底的に避けること、室内の換気や人と人との距離を適切にとることなどをはじめとして基本的な感染対策の徹底等を行うものとします。

3. 催事主催者に協力を求める具体的な対策

催事主催者が講ずるべき具体的な対策は、開催時の地域における新型コロナウイルスの感染状況等により、その感染防止対策の必要性や水準が決定されることに鑑み、以下は参考のための例示として掲げるものです。

催事主催者が必要な措置を講じていないと認められる場合、施設管理者は催事主催者に対し、必要な措置を講ずるよう要請いたします。具体的な対策を講じても十分な対応ができないと判断された場合は、ご利用を取り消しとさせていただきます。

<催事前の対策>

(1) ウイルス対策書の提出

・催事主催者は、事前にどのような対策を実施するか「ウイルス対策書」(※別添1)をご提出いただきます。ご提出後、内容を精査させていただいた上、利用許可書を発行いたします。

(2) 入場制限

- ・催事主催者は、催事の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況を発生させない工夫の導入を検討してください。例えば、以下のような手段が考えられます。
- 開場・休憩時間の延長
- 入場時のチケット確認(もぎり)の簡略化

- 入場待機列の設置
- 日時や座席の指定予約による人数調整
- 着席数の制限(椅子の数を減らして間隔を空ける、互い違いに着席する等)
- 大人数での来館の制限 等
- ・来場者が多数になることが見込まれる催事や県域を越えての来場が見込まれる催事については、感染予防措置について対応を検討してください。
- ・特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる催事については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

(3) 来場者および関係者(ゲストや設営・運営など出入りする民間事業社)との関係

- ・事前に把握している範囲で、催事ごとに、来場者と関係者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。また、来場者と関係者に対して、感染者が発生した場合などこうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- ・来場前の検温の実施の要請のほか、来場を控えてもらうケースを事前に周知するようにしてください。

<催事当日の対策>

(1) 広報・周知

感染防止のため、以下について来場者に対して広報・周知してください。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底。
- ・社会的距離の確保の徹底。
- ・下記の症状に該当する場合、入場をしないよう要請。
- ① 発熱があり検温(催事主催者にてご用意)の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
- ② 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ③ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合 等

(2) 来場者の入場時の対応

- ・入場待機列に行列が生じる場合、最低1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないように工夫をしてください。
- ・会場の入口に手指消毒用の消毒液を極力設置するようにしてください。必要であれば、入口数を制限することも検討してください。
- ・受付等において、アクリル板や透明ビニールカーテンにより、来場者との間を遮蔽するように努めてください。(ホールに2台、ナレッジルームA・Bに各1台ご用意しております。)
- ・事前に余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- ・以下の場合には、入場しないよう要請してください。
- ① 発熱があり検温(催事主催者にてご用意)の結果、37.5℃以上の発熱があった場合

② 咳・咽頭痛などの症状がある場合

③ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合 等

・入場時のチケットもぎりの際は、マスクや手袋を着用するようにしてください。また、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、催事主催者がそれを目視で確認するといった方式等、もぎりの簡略化の導入も検討してください。

・パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるようにしてください。

・アンケート記入用のペン等の共有(使いまわし)する物品について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は使用を行わないようにしてください。

・入待ち、プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼び掛けてください。

(3) 催事会場内の感染防止策

・接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用と会話抑制等、複合的な予防措置に努めてください。

・他者と共有する物品など、手が触れる場を最低限にする工夫をしてください。特に高頻度接触部位(テーブル、イスの背もたれ、ドアノブ、蛇口、手すり等)の消毒を定期的に行ってください。

・直接手で触れることができる展示物等は極力展示しないようにしてください。

・座席は原則として指定席にするなどして、適切に感染予防措置がとれる席配置とするよう努めてください。※最低1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けて座席を配置してください。

・座席の最前列席は舞台前から十分な距離を取り、また、感染予防に対応した座席での対策(前後左右を空けた席配置、又は距離を置くことと同等の効果をもつ措置、対面とならない席配置等)に努めてください。

・来場者と接触するような演出(声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等)は行わないようにしてください。

・場内における会話は控えていただくよう周知してください。

・事前に密集状況が発生しないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑の緩和に努めてください。

・トイレの混雑が予想される場合、最低1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けた整列を促してください。

(4) 催事関係者の感染防止策

・催事の運営に必要な最小限度の人数としてください。

・各自検温を行うこととし、37.5℃以上の発熱がある場合には自宅待機とするようにしてください。さらに発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促してください。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害 等

・催事主催者は、従事者の緊急連絡先や勤務状況を把握してください。

・表現上困難な場合を除き原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔を

とるようにしてください。また、催事前後の手指消毒を徹底してください。

- ・機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ・催事関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

(5) 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- ・感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行ってください。
- ・対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- ・速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。
- ・感染が疑われる者と接触した従事者および来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成してください。

(6) 物販

- ・パンフレット等の物販を行う場合、最低 1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けて整列していただくようにしてください。
- ・物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底してください。
- ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽してください。
- ・多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱わないようにしてください。

(7) 来場者の退場時の対応

- ・事前に余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場等の工夫を行ってください。
- ・退場時に来場者に対し、催事後2週間以内に感染が疑われる症状が出た場合の対処の仕方を、再度周知してください。
- ・出待ちや面会等は控えるよう呼び掛けてください。

<催事後の対策>

感染の疑いのある者が発生した場合には、速やかに連携が図れるように、所轄の保健所との連携体制を整えてください。(以下について周知してください。)

- ・催事ごとに、可能な範囲で来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成・保存するよう努めてください。
- ・感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。
- ・「感染者情報提供シート」(※別添2)を速やかに施設管理者まで、ご提出してください。
- ・なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずるようにしてください。

イベント開催時の新型コロナウイルス感染対策書

メディアシップ管理運営センター 行

令和 年 月 日

申請者	フリガナ 団体名		フリガナ	
	企業名		ご担当者名	
	ご住所	〒		
	電話番号	()	F A X 番号	()
	Email			

感染対策について	利用日	令和 年 月 日 () から
		令和 年 月 日 () まで
	利用施設	<input type="checkbox"/> 日報ホール <input type="checkbox"/> ナレッジルーム <input type="checkbox"/>
	催事名称	
	状況・対策	
	事前案内
	運営
	受付時
	その他

※上記の通り、対策を行い開催いたします。対策がされていない場合は、利用取り消しの指示に従います。

【開催日当日記入欄】

令和 年 月 日 団体名

担当者
